

第125回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

平成27年11月

日時: 2015年11月27日(金) 18:00-20:00 場所: 神奈川大学 24号館 310号室
◆ 主催: 防災塾・だるま 司会: 中島光明 記録: 紅林敏行
◆ 談義の会参加者: 会員30名 一般1名 計31名 (敬称略)



往本塾長の挨拶

塾長挨拶

『人の繋がり』の中で10年間活動をして来た。『情報の共有化』、『人的ネットワーク』はうまく機能していると思う。ざっくばらんに思っている事を話し合っただけで欲しい。



意見交換の風景

談義: 10周年記念事業第3弾: 後半

「『防災塾・だるま』活動への提言からの意見交換・まとめ」

● 『振り返って』⇒『課題』(高齢化と継続性)⇒『これからへ向けて』の意見交換

司会(中島さん)のもとで、前回(10/16開催の「だるま活動への提言」)杉原さん・渡辺さん・中川さん・上原さんの4氏から頂いた提言をベースにして意見交換を実施。12/18定例会にて継続討議予定。

『これからへ向けて』のヒト(会員からの話から抜粋)

【学びの場】

「自治会町内会で防災に取り組む」「養成講座受講が切掛けで会員に」「養成講座、談義の会の内容が役立った」「防災の知識は深くて広い、学びの場は必要」「普段聞けない人から話が聞ける」「行政・双葉・学研・医療・NPO等の講師(含む会員)の方々との接点が出る」「毎月1回の談義の会は動機付け等に有効」「会員の話から刺激、活力を得る」「女性会員の行動力・実行力は凄い」

【地域等へ還元】

「家庭、地域(自治会町内会、連合会、学校、市町村等)に還元(防災への関心を向上)」「地域の防災組織を立ち上げ」「地域の課題は多様、身近な事の解決を地道に取り組む」「地域の課題解決では行政にうまく動いてもらう」「人的繋がりを利用してボランティア活動を広げる」「町づくりに役立てる」「学校防災教育に取り組む」「県内外のボランティアセンターの立ち上げに取り組む」「中小企業の事業継続等に取り組む」「勉強を継続し、蓄積した知識と知恵を次世代へ継承」

【人的ネットワーク】

「会員の人的ネットワークを活用して、神奈川区だけでなく、横浜市各区、大和市、秦野市、横須賀市、葉山町、大井町、松田町、開成町、小田原市、平塚市等へ防災減災の活動を展開」「だるまの活動に対する役所、警察署、消防署、双葉等の認知度が上がってきている」

塾長から・・・

『防災塾・だるまの理念』に記している、「会員の皆さんが相互に負担を感じる事のない、【緩やかな繋がり】の中で、自然に防災意識を高めていく活動を展開」を継承!

『地域に即した多様な防災減災活動の展開』

各会員の活動はいろいろあって良い。防災減災に向けて諦めずに自分のできる事を地域で地道にやり続けていく。その中で、だるまで勉強した事も還元していく。

『緩やかな繋がり』

それぞれで活動している会員の知識・叢智が絡んで、緩やかに連動していく【繋がり】を組織的に始める時機に来ている。

『防災センター』

神奈川大学としても社会貢献に資する活動のひとつとして必須。形が出来たので、「心」をいれる取組に着手する段階。

● 次回(第126回)案内

- 日時: 2015年12月18日(金) 15時~16時30分
- 会場: 神奈川大学1号館301号室
- 話題: 巨大災害と失敗の教訓
- 講師: 佐藤孝治氏(神奈川大学経済学部教授、防災塾・だるま顧問)